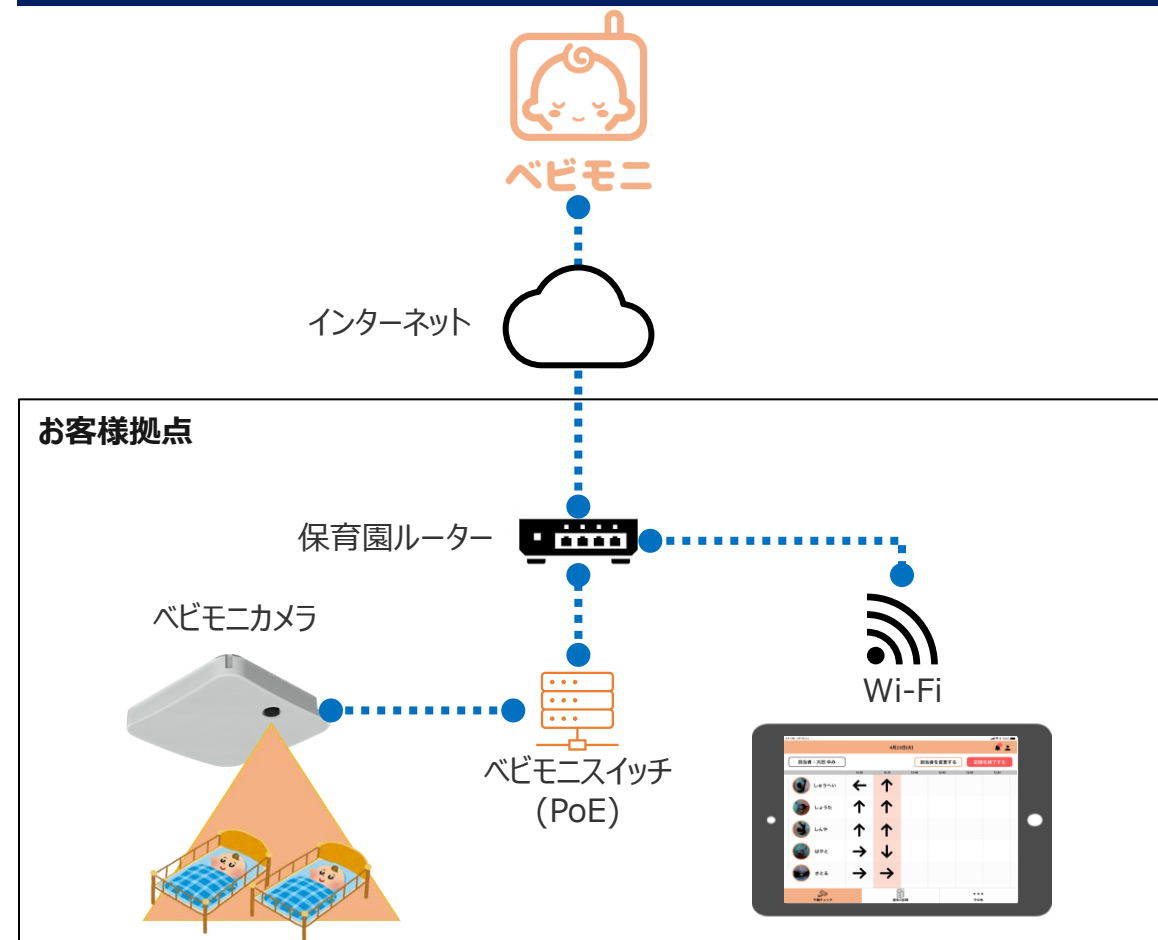


午睡チェックシステム ベビモニ概要

- AIによる**自動検知機能**により、呼吸や顔色のチェック等、園児に向き合う時間を確保し、**業務的・心理的余裕**を醸成します。
- アプリにより自動で午睡記録を作成することで、**保育士の皆さんの手入力の手間を軽減**します。
- コドモン連携により、**職員間で午睡情報の共有**や、**保護者も午睡時間を確認**できます。

サービスイメージ



特長

現場の実態を踏まえたサービス設計により、
見守りの質の向上と保育士の負担軽減を両立

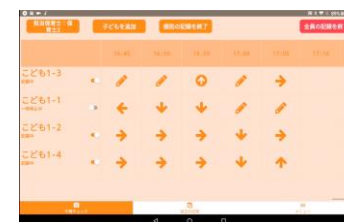


【特長1】 AIによる体の向きの自動検知

カメラ映像を分析するAIによって、うつ伏せ検知や左右識別を高い精度で検知します。

カメラ1台で**約10人を同時に見守り**できるため、日々の人数変動に対して柔軟に対応可能です。

うつぶせ寝を発見するとアラートが鳴る仕様です。



【特長2】 アプリにより自動で午睡記録を作成

アプリによる自動午睡記録機能により、**手入力の手間を削減**し、こどもと向き合う時間を増加させます。

寝姿を5分に1回の間隔で自動チェック & 記録いたします。



【特長3】 コドモン連携が可能

午睡記録をコドモンへ反映させることができます。

- API連携により午睡チェック結果がコドモンに自動反映
※**全職員がコドモンのタブレットで午睡記録を確認可能**
- 午睡情報の記録後、自動的にコドモンの「連絡帳」へ転記
※**保護者も午睡記録を確認可能**

ベビモニ導入前/導入後の変化

- 午睡チェック表が自動作成されるため、保育士による**用紙記入**や**システム投入**が**不要**です。
- **天井設置カメラによる午睡チェックシステム**のため、センサーやマット等の用意や片付けといった**機器管理**が**不要**です。
⇒削減された時間をその他の保育業務に充てられるため、**こどもと触れ合う時間の増加**に繋がります。

ベビモニ 導入前

導入前の課題

- ✓ 午睡中も常にこどもの状態を手作業で記入する必要があり、他の業務が進まない
- ✓ 保育士の心の余裕を持って働ける環境づくりの整備が進んでいない
- ✓ ウェアラブル型・マット型の機器は、誤飲や片付けの手間がかかりそうで心配
- ✓ 保育士が紙に記入した内容を毎日転記しており、事務作業による残業が発生



保育士の声

- 5分に一度プレスチェックをした後に寝姿の確認と用紙への記入が必要。記入している間に5分経ってしまう…
- 記入する人によって左右の向きが違う。また管理表のマスが小さく、記入する人によっては見づらい…
- こまめに睡眠の状態をこまめに紙に手書きしなければならず、記入の手間や書類の管理の負担が大きい…
- ウェアラブル型の午睡センサーを使用してるが、個別にセンサーを園児に装着しなければならず、反応が悪いと何度も付け替えたりと負担がある。誤って持ち帰り、紛失するケースも…

ベビモニ 導入後



導入後の変化

- ✓ 5分/回に自動で午睡チェック表が作成され、手間のかかる作業が削減
- ✓ ベビモニと一緒に見守りをしてくれているという安心感、心にゆとりを持てる状態に
- ✓ センサーやマット等の用意や片付けが不要で、安全かつ楽に運用できるように
- ✓ 一連の記録に紙を使用しないため、転記や保管の手間がなくなり事務負担が軽減



保育士の声

- 5分/回に自動で午睡チェック表が作成されるので、用紙に矢印を描く手間が省け保育士の負担が軽減した！
- 保育士によってバラついていた矢印の方向が統一された！
- 管理表への記入が不要となり業務が効率化、浮いた時間を連絡帳作成などに充てることができた！
- 天井設置カメラであるおかげで機器の取り換えやトラブルがなくなり、業務負担が圧倒的に軽減された！
- 保護者からは「人とベビモニによるダブルチェックはとても安心感がある」との声をいただいている！